



まいめろ♪ #15



J

- Helplessness -

うつむく 冬

目を閉じれば思うの、 時々

何を 差し置いても

正気を失っても

きみじゃなきゃ ダメなんだって。

なのに、いつも気持ちは晴れなくて

痛切に 抱く夢は 悲しいって、

待つだけは イヤなのに

回りくどく 迷い惑わされ 巡り巡っても

抜け出せやしないんだ

飲み込んだ涙の数も

交わした愛の深ささえ

どこへもいけないまま 君を想う空に消えるんだ

もしも それが

犠牲だというのなら？

エゴだというのなら？

もしも 求めるものが

ただの過ちと言うのなら・・・

どうしようもなく

傷は深まるばかりだね。

言葉を重ねるたび 光を失い 遠ざかる

私達は、これ以上は・・・そんな気がするの。

私達は ほどけない 逃げきれない

くやしいけどごめんね

くしゃくしゃでごめんね。

届かなくて

戻れなくて

追いつけなくて

大丈夫、まだ信じあえるよね？ とか

凍えるような祈りさえ

すでにもう 翳り始めているのかな？

だから きみの背中見送るって決めたんだ。

でも ほんとの答え まだ見付らなくて

こんなのは違う

強がりは 嫌い

An inverted affection

逆さまの愛

Crisis is like the safety of reverse
危機は安全の逆のようだ

It's always in an uncertain shape
それはいつだって不確かな形の中で

No conductance . . .

People In The Box ,

Slit the whole town . . .

滑り落ちてく

全身の力が 抜けてゆく

溶け出して 分離したら、

やがて ゆっくりと 沈んでいくから

優しく頬に触れたら

ねえ、そっと伝えて . . .

小さな嘘 舞い降りた

間へ 間へ

底へ 底へ . . .